

# 激動が予測されるこれからの 10 年を見通した 『豊橋市の教育について』

## 第 60 号 ごあいさつ

令和 3 年度 12 月議会の一般質問は、  
『激動が予測されるこれからの 10 年を見通した豊橋市の教育  
について』です。

- 本年度より、2030 年までを計画期間とする、第 2 次豊橋市  
教委育振興基本計画がスタートしました。
- 計画の背景は『人生 100 年時代の到来』『A・I、ビッグデー  
タの活用』『技術革新がもたらす社会構造の変化』ですが、
- 計画の初年度から『新型コロナウイルス感染症禍とアフターコロ  
ナ』『カーボンニュートラル』『SDG'S』『急速なデジタル化』といっ  
た、計画前には将来展望で読み取れなかった、新たな社会構造  
の大きな変化を正面から受け止め、効果的で効率的な教育の  
ありかたを形成していかなばなりません。

将に喫緊の課題を議論しました。



### 【質問の意図】

- 👉 文部科学省は、改訂に当たる将来展望について、  
👉 子供たちの 65%は将来、今は存在していない職業に就くとの  
予測（※キャシー・デビッドソン氏）
- 👉 今後 10 年～20 年程度で、半数近くの仕事が自動化される  
可能性が高いなどの予測（※マイケル・オズボーン氏）
- 👉 2045 年には、人工知能が人類を越える「シンギュラリティ」に  
到達するという驚くべき指摘もあり、
- 👉 グローバル化、情報化、技術革新等といった変化は、どのよう  
なキャリアを選択するかにかかわらず、全ての子どもたちの生き方  
に影響するものである、としています。

### 【1】 コロナ禍の経験を踏まえ、本市が目指す学校教育の方向 性とは 【教育長】

- とよはし版 G I G A スクールは、子どもたちの学びを止めない環  
境づくりに、大きな推進力になった。
- 人と人とのふれあいや、多世代との交流、手を取り合っ、様々  
な困難にも果敢に挑む力を深める重要性が改めて認識された。

### 🌸 (1) 再質問

👉 デジタル教育については、子ども、教師、家庭はじめ、メディアから  
も様々な不安も耳にします。

### デジタル化が加速する中での、情報教育について 【教育長】

- デジタル化の波は、学習活動のあり方や教員の児童生徒へのか  
かわり方など、学校教育にとって、大きな転換期である。
- 正しい情報が選択できるよう、情報モラルの大切さを教えていく  
必要。
- 変化が激しく予測が困難な時代において、子どもたちが、持続  
可能な社会の創り手となっていくためには、基本的な情報活用能  
力の育成だけでなく、感性や創造性も大切にし、新たな価値を  
生み出す力も育みたい。

### 🌸 (1) 再質問

- 👉 非常に大きな転換として注目しているのが、授業のイノベーションと言われている  
アクティブ・ラーニングの視点による授業改善を、学びの土台に相関して築く学びを  
人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性等の涵養です。
- 👉 情報モラル、言い換えれば情報リテラシーですが、この件については細心の注意  
を図ることの出来る、ひとつづくりを目指していただきたい。
- 👉 教師には、教育への矜持が問われることとなります。
- 👉 教育長の教育の原点に立ち戻って道を示すべきと考えます。

### ポストコロナ、カーボンニュートラル、SDG'S、といった、激動が予測されるこれか らの 10 年を見通しての、学校教育における不易と流行の考えかた 【教育長】

- 「教育は生きる力を磨き深めることでなければならない」という教育理念の  
もと、社会の変化を的確にとらえつつ、堅持するべきものは堅持し、変化すべきもの  
には柔軟に対応しながら、子ども一人ひとりを大切にする教育を推進しております。
- 「主体的・対話的で深い学び」を教育の本質とするならば、タブレットを用いた I  
C T 教育は時代の変化に対応する新たな手法となります。タブレット端末を、子  
どもたちの可能性を引き出す手段として、最大限活用することにより、学びが広  
がり、生きる力を磨きながら人間性を深めていく子どもが育つものと考えます。

### 🌸 (1) まとめ

- 教育 DX 本来の目的は、「これまでの時代に実現できなかった真に個別最適  
な学びの実現」であり、「生徒一人ひとりの能力を最大限活かす・能力の偏りが  
大きくても自分の得意なことで活躍できる」教育観に基づいてのものです。
- 「全員に同じ教育」から「個々が持つ能力を最大限活かす教育」への教育方針  
が変化に際しても、デジタルツールを学びに活用する際は、不易である「教育は生  
きる力を磨き深めること」という教育理念を実践していただきたい。

**(2) 確かな学力とたくましく生きるための体力の育成について**

**【教育長】**

● **生きる力** ～学びの、その先へ～をスローガンに掲げた平成 29 年告示の学習指導要領は、本市が掲げる「生きる力を磨き深める」という教育理念と同じところを目ざすものである。

● 「生きる力」は「**確かな学力**」、「**豊かな心**」、「**健やかな体**」の三位一体のもの。

**❁ (2) 再質問**

👉 私の水泳授業は、学校にプールが整備され間もない時代でした。  
👉 海や川での水難事故防止の教育が中心で、競技はその次でした。  
👉 現在、老朽化し、時代に合わなくなったプールの問題もあります。  
👉 2020 東京オリンピック・パラリンピックの水泳競技が、スポーツ教育として、どの様に生かされていくかについても気になるところです。

**体育を広い視点で、たくましく生きるための体力の育成について**

● 小中学校では、体力の育成をめざし、体育授業を充実させ、個々の目標に向かい努力する体育的行事を年間計画に位置付けてきました。

● しかし**体力テスト**では、**30%を超える児童が運動を苦手**としており、**運動する楽しさ**を感じられる必要があります。

● 一例に「外部人材を活用した水泳授業の拡大」があり、教員が立てた授業計画に基づき、専門知識や指導技術をもつインストラクターを活用し子どもの泳力向上と、**運動する楽しさを感じさせる取り組み**です。

● **地道な努力**を重ねたり、お互いに**切磋琢磨**し合ったりすることにより、子どもたちは、**技能の向上や達成感**を味わうことができると考えます。

**❁ (2) 再質問**

👉 G I G A スクールが進み、子どもは自分の学びを自分でコントロールする自律的な学びが進む中で、コロナ禍で一気に前進した端末を使った授業や家庭学習を振りかえりながら・・・

**社会的変化を視野に入れつつ、教育の姿を総体的に描きながら、「学校」の意義についても今一度捉え直していく必要がある。**

**あらためて問う、学校の意義について**

● **教育基本法**には、教育の目的として「**人格の完成**」をめざすこと及び「**平和的な国家及び社会の形成者として、心身ともに健康な国民の育成**」が掲げており、社会がどのように変化しようとも、教育の目的はここにあります。

- 子どもたちにとっては学校での活動のすべてが学びです。
- 人とかかわりの中で、**対話を通して試行錯誤**したり、時には**切磋琢磨**し合ったりします。その**経験**が子どもたちの**人格を形成する学び**であり、そうした**学びを通して心身ともに健康な子どもが育つ**と考えております。
- **人とかかわりの時間と場所を保障することが学校の意義**です。

**❁ (2) まとめ**

👉 「流行」に対して敏感であると同時に、学校の意義とは何かという真理に向かって、学校の在り方、学校生活の姿、求められる教育や授業、教科等の在り方を俯瞰的かつ総合的な視点を持って意義を探究していただきたい。

**(3) 本市が目指す小中一貫教育より制度導入から 10 年余が経過した今、本市が取り組むとしているコミュニティ・スクールの導入について**

- コミュニティ・スクールは、**学校と地域が、学校の目標やビジョンを共有し、学校の教育課題の解決のために熟議・協働**することで、更なる地域ごとの特色を生かし、開かれた学校づくりを推進するための取り組みです。
- 本市は、コミュニティ・スクールの導入に向け、来年度には、一部の小学校をモデル校として定め、コミュニティ・スクール推進委員会を立ち上げます。
- 組織、体制づくりについて、学校、地域とともに課題を整理し、導入の手引きを進め、**令和 7 年度に小学校全校で導入を推進**目指したいと考えます。

**❁ (3) まとめ**

👉 コミュニティ・スクールが持続可能なシステムとして推進していくための課題と対応について、**地域と学校が自治体と密接な規模の小さい都市での成功例はあるが、中核市では課題は多い**と感じる。  
👉 よくよく研究され、持続可能とすることを期待します。

**(4) 今後の児童生徒数減少を考慮した本市学校施設のあり方について**

- 2030 年には **3 万人を大きく割り込む**と推測され、学校における**余裕教室**などは増加していくものと予測されます。
- 長寿命化改修等の実施による**老朽化対策**と、**多様な学習形態**への対応や、**カーボンニュートラル達成**に向けた**省エネ性能向上**など、時代の変化に沿った施策が重要であると考えます。

**❁ (4) 再質問**

**特徴ある学校文化を持続するとともに教育の質の向上と施設の無駄を無くす教育マネジメントについて**

- 老朽施設を保有する現状にて、教育の質の向上と、財政負担の軽減に向けた維持管理コストの縮減に向けた取り組みの両立は、重要な課題です。
- 民間プール等を活用した水泳授業、**校舎改修に合わせた校区市民館との複合化モデル事業**も、関係部局と連携し、地域の声を聞きながら進めてまいります。

👉 豊橋の魅力ある教育を充実したいと思えば、教育予算全体には限りがあり、**財政負担の軽減に向けた教育予算全体の統合、再編に積極的に取り組み**、時には教育予算を超えた横断的な計画が必要不可欠と思われます。

- 👉 「包括的民間委託」について、市内事業者の持続に配慮が必要です。
- 👉 **教育予算は未来への投資、「人づくり NO.1」を目指す部局横断の手法**を注視します。

**(5) 夢に向かって学び続けるとともに、多様な価値観を認め、共に生きる教育について**

- 学校こそが、**共生という概念を学ぶ貴重な場**です。
- **人権教育や国際理解教育**の充実を発達段階に合わせて、**教育大綱**に示した「**豊橋をおもい、未来をつくる人**」を育てます。

**❁ (5) 再質問**

**人づくり No.1 のまちづくりを目指す市長とし「豊橋を思い、豊橋の未来をつくる人になれる」ための対応を進める教育政策の認識について**

- 激動の変化が予測されるこれからの時代、将来、様々な場所で活躍でき、どんな状況にも柔軟に対応できる力を持ち、ふるさとへの愛情に溢れた子どもが育つことを望んでいます。
- そのためには、子どもたちが夢を持ち、夢が実現できる教育が受けられ、生涯にわたって「**学び続け**」「**学びなおせる**」**環境づくり**が必要です。
- 子どもたちの学び姿を通して、保護者や地域の皆様に、豊橋の学ぶ環境の素晴らしさを知っていただくことも重要だと考えております。
- 今後も、学校、家庭、地域による恵まれた教育環境を作るため、学校だけでなく、家庭、地域のご協力のもと、豊橋の教育環境を充実してまいります。

❁ 市長の考える教育大綱は変化の激しい社会における、教育の羅針盤であり、悩み迷った時の拠り所です。  
❁ 社会構造変わる中で、子どもたちは、教育を通して、一人ひとりの個性が受容されると共に、幸せな人生を送りながら、持続可能な社会の実現に向けて行動できる力を獲得しなければならないと思う。  
❁ 時代に取り遅れない様、市民と今求められる教育ヴィジョンや価値観を共有し、こどもたちの現場に目を向け、声に耳を傾け、豊橋の教育を通して「豊橋を思い、豊橋の未来を創るひとが育まれる」**「サステナブルシティ」**を期待します。



**あとがき**「学び続け」「学びなおせる」環境づくりは、暮らし続けることの出来る、サステナブルなまちづくりの必要不可欠な政策です。  
童謡の「故郷(ふるさと)」は、**志を果たして、いつの日にか歸らん** から、**→志を果たしに、いつの日にか歸らん**へと、歌詞を一字変えると、自分の夢を実現するために、故郷へ帰ろうと、なります。  
激動の変化の時代に生きるとともに、生涯、現役が求められる子どもたちが、生涯、希望や自信が持てる「**学び続けられる、暮らし続けられる**」豊橋の教育環境には何が求められているのか? 「**教育環境の魅力**」と答えて頂きたかった。

**市政報告会のお知らせ**  
日付 **令和 4 年 5 月 11 日(水)**  
時間 **18 時 30 分より**  
会場 **カリオンビルにて**  
**お気軽にお越しください!**

**発行**  
伊藤とくや事務所  
豊橋市松葉町 3-70  
☎090-3855-9696  
FAX :  
**0532-53-4557**  
[bbito@me.com](mailto:bbito@me.com)